

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	2-3-1	事業名	「食のまち」札幌の推進	
担当	経済局産業振興部経済企画課 大友 211-2352			
全体計画				
事業内容	<p>【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】札幌洋菓子協会が中心となっている「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」への負担金を継続し、同協議会との連携を図り、「さっぽろスイーツ」のブランド化を図る。 【「食のまち」札幌の発信拠点整備事業】北海道の新鮮で豊富な食材を最大限に活用し、「札幌の食」を新たな都市ブランドとして確立するため、都心に食に関する発信拠点を整備する。 【食関連新技術導入促進事業】(財)北海道科学技術総合振興センターが、市内食品製造業者と協同で実施する新製品、新技術の研究・開発事業(モデルプロジェクト)に対して補助を行う(補助率2分の1)。 【見本市出展支援事業】全国規模の食品専門見本市や有力バイヤーを対象とした商談会への出展支援を行い、全国に向けて北海道の食の優位性をアピールしながら積極的に商品情報を発信することを通じて市内食品関連企業の販路拡大を目指す。 【「スイーツの街」発信事業】札幌のスイーツを切り口としたイベント「さっぽろオータムスイーツファンタジー」を大通公園で開催することにより、「スイーツの街・さっぽろ」を推進し、小規模事業者が多い菓子業界の活性化を図る。</p>		<p style="text-align: center;"><年度別の事業内容></p> <p>【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】平成19～22年度:協議会へ負担金を支出 【「食のまち」札幌の発信拠点整備事業】平成19～20年度:他施設との連携を含め、施設の場所、運営方法等を検討。平成21～22年度:平成20年度までの検討結果を踏まえ、発信拠点を整備 【食関連新技術導入促進事業】平成19年度:モデルプロジェクト2件への補助を計画。平成20～22年度:平成19年度と同様の内容で実施予定。 【見本市出展支援事業】平成19年度:FOODEX JAPAN 2008出展。平成20～22年度:スーパーマーケット・トレードショー出展、北洋銀行インフォメーションバザールin Tokyo出展 【「スイーツの街」発信事業】平成19～20年度:イベント「さっぽろオータムスイーツファンタジー」開催(平成20年度で終了)</p>	
	事業内容	平成19年度事業内容(決算)	平成20年度事業内容(決算)	
事業内容	<p>【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」へ負担金を支出した。同協議会では、スイーツコンペティション、スタンブラーのほか、さっぽろスイーツPR事業を実施。 【「食のまち」札幌の発信拠点整備事業】市民まちづくり局企画課で進めている「都心部における北海道の魅力発信事業」との連携等について検討した。 【食関連新技術導入促進事業】(財)北海道科学技術総合振興センターが、市内食品製造業者と協同で実施する新製品、新技術の研究・開発事業(モデルプロジェクト)に対して補助を行う(補助率2分の1)。 【見本市出展支援事業】FOODEX JAPAN 2008出展 日時:平成20年3月11日～14日 食品見本市出展実行委員会を組織し、市内・道内企業17社で出展した。 【「スイーツの街」発信事業】平成19年9月7日から9日の3日間大通西2丁目オープンカフェ型のイベントとして開催した。札幌スイーツのみならず、北海道の新鮮なフルーツを使ったスイーツや独自文化を持つ神戸スイーツなども提供した。</p>	<p>【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】スイーツ王国さっぽろ推進協議会へ負担金を支出。同協議会では、スイーツコンペティション、スタンブラー、さっぽろスイーツPR事業のほか、参加企業増加のための活動を行った。 【「食のまち」札幌の発信拠点整備事業】市内の複数洋菓子店のスイーツを集積させた「さっぽろスイーツカフェ」の開設に向けて、検討・準備を進めた。 【食関連新技術導入促進事業】19年度と同様、2件のモデルプロジェクトを実施した。 【見本市出展支援事業】北洋銀行インフォメーションバザール出展 日時:平成20年9月10日～11日 東京にて首都圏を中心とした有力バイヤーとの商談会を開催した。食品見本市(スーパーマーケット・トレードショー2009)出展 日時:平成21年2月11日～13日 食品小売・卸を主対象とした見本市(スーパーマーケット・トレードショー)に出展した。 【「スイーツの街」発信事業】内容については19年度と同様だが、開催にあたっては20年度秋の新規事業「さっぽろオータムフェスト2008」と同時開催(平成20年9月19日から21日)し、相乗効果を図った。</p>		
場所	平成21年度事業内容(予算)	平成22年度事業内容(予算)		
規模	<p>【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】引き続き、スイーツ王国さっぽろ推進協議会へ負担金を支出し、スイーツコンペティション、スタンブラー等の事業を行う。 【さっぽろスイーツカフェ運営費補助】スイーツ王国さっぽろ推進協議会が中心となって進めている「さっぽろスイーツカフェ」の設置・運営を支援し、補助金を交付する。 【食品産業開発支援事業】21年度から「食関連新技術導入促進事業」の名称を変更し、「魅力ある食の新技術開発事業」として、20年度と同様、2件のモデルプロジェクトを実施する予定。また、市内中小食料品製造業者等が行う、食品の開発・改良に対して、販路開拓を見据えながら、商品企画から製品化まで体系的な支援を行う「売れる食品開発支援事業」を新たに実施(5件実施予定)。 【見本市出展支援事業】引き続き、北洋銀行インフォメーションバザールおよび食品見本市(スーパーマーケット・トレードショー2010)に出展する。 【「北海道の食を愛するまち」情報発信拠点支援事業】道産食品の普及啓発を行う団体が都心においてPR・販売する際に、その家賃の一部に補助を行うことで(2件実施予定)、市民や観光客による道産食品の消費を促進し、北海道全体の食産業の振興を図る。</p>			
件数				
等				

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2)

計画体系コード	2-3-1			事業名	「食のまち」札幌の推進		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (実績)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)	
スイーツ王国さっぽろ推進協議会への参画会員数	85社	130社	134社	160社	170社	170社	
「食のまち」札幌発信拠点の整備	-	-	-	整備	-	整備	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】スイーツスタンプラリーなど、市民参加型のイベントを実施している。 【見本市出展支援事業】企業と行政が連携して募集から出展まで一貫した事業展開を実施している。 【「スイーツの街」発信事業】本事業を実施するにあたり、広報さっぽろ、パンフレット、HP、報道機関へ情報提供の他、会場アンケートを実施するなど、情報共有や市民参加が図られている。</p> <p>企業等との連携・協働 【資金協力】 【「スイーツの街」発信事業】「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」と連携することで、個店等では実施できないような企画やイベントが実施できている。 【人材協力】 【食関連新技術導入事業】モデルプロジェクトの実施に当たっては推進会議を定期的に開催しており、(財)北海道科学技術総合振興センターのアドバイザーから担い手企業への助言が行われている。 【情報協力】(該当なし) 【その他の協力】(該当なし)</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】協議会ホームページでの情報発信や、パンフレット等の配布により市民参加を促している。 【見本市出展支援事業】経済団体、業界団体、金融機関はもとより、HPも利用しながら事業の周知に努めている。 【「スイーツの街」発信事業】「スイーツ王国さっぽろ推進協議会」と連携することで、どの団体にも所属していない個店等が、協議会を通して大きなイベント等に参加できるしくみとなっている。</p>							
評価(成果)			課題				
<p>【「スイーツ王国さっぽろ」推進事業】協議会の他の構成団体と一体となった取り組みを行うことで、「スイーツの街・さっぽろ」の実現さらには食関連産業の活性化に貢献した。 【「食のまち」札幌の発信拠点整備事業】「さっぽろスイーツカフェ」が誕生することで、「札幌の食」のブランド力強化につながり、また洋菓子産業ひいては食産業全体の活性化に資する。 【食関連新技術導入促進事業】当初の目標どおり、道産食材の付加価値を市内で高め、道外に展開していくモデルプロジェクトを平成19年度から計4件実施し、本市の食関連産業が対外的に高い商品企画力と競争力を持つ外貨獲得型産業に成長することに貢献した。 【見本市出展支援事業】単独での見本市・商談会出展が困難な市内中小企業に対して、国内外の有力パイヤーとのマッチングの場を提供し、外需獲得、販路拡大に貢献した。 【「スイーツの街」発信事業】オータムスイーツファンタジー終了後、地域商店街が主催するイベントにもスイーツが取り込まれるなど、商店街等の活性化へも波及した。</p>			<p>食料自給率198%を誇る北海道の道都としての札幌の強みである食資源をより有効に活用して、北海道・札幌の食の消費拡大、食産業の活性化を図っていくためには、スイーツを中心とした食関連事業について市民・道民への認知度を高める必要がある。 また、北海道・札幌の食を市民・道民に定着させるためには、イベントのような一過性のものでなく、店舗の常設化が求められている。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>食資源の高付加価値化、販路拡大など、札幌の強みである食資源を有効に活用し、食の加工、流通、マーケティング等あらゆるプロセスにおいて重点的な支援を行っていく。また、道外、国外にPRするとともに、道民・市民にも積極的にPRすることで、札幌の食のブランド化を確立していく。 また、イベントのような一過性のものでなく、常設店舗化を図り、菓子業界の支援を行なっていくことや、商店街の空き店舗を利用することにより、併せて商店街の活性化も図れることから、「スイーツの街発信事業」については、平成20年度で終了し、「さっぽろスイーツカフェ」に事業目的を引き継ぐこととした。</p>							

平成21年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

計画体系コード		2-3-1		事業名	「食のまち」札幌の推進		
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	17,400	26,200	26,200	26,200	96,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	
		市の債	0	0	0	0	
		その他の	0	0	0	0	
		一般財源	17,400	26,200	26,200	26,200	
予算	事業費	17,400	27,640	39,470	-	84,510	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	
		市の債	0	0	0	0	
		その他の	0	0	0	0	
		一般財源	17,400	27,640	39,470	-	
実績	事業費	20,416	20,402	-	-	40,818	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			
		市の債	0	0			
		その他の	0	0			
		一般財源	20,416	20,402			
事業費の進捗率		(H19実績事業費 + H20実績事業費 + H21予算事業費) / (計画事業費)				83.6%	
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
【食関連新技術導入促進事業】モデルプロジェクトとして適した案件のみ実施したこと、実際に事業を進めていく中で経費節減が図られたことにより、決算額が予算額を下回った。							
【「スイーツの街」発信事業】当初予算及び計画に計上していなかった「さっぽろオータムスイーツファンタジー」開催に係る経費を他の事業費の節減により捻出し、19年9月に開催したため、計画事業費を上回る決算額となった。							
[20年度]							
【食関連新技術導入促進事業】モデルプロジェクトとして適した案件のみ実施したこと、実際に事業を進めていく中で経費節減が図られたことにより、決算額が予算額を下回った。							
[21年度]							